

医系総合大学の特色を活かした学部連携教育

医学部、歯学部、薬学部、保健医療学部からなる医系総合大学の利点を生かし、チーム医療に積極的に貢献できる人材を養成するために「学部連携教育」を行う。低学年では、チーム医療の基盤作りとして、大学内外での施設を利用した各種の（初年次）体験実習やPBLチュートリアルなどの問題解決型学習を、高学年では、大学の附属病院や地域医療施設での実践的なチーム医療学習を、いずれも4学部合同カリキュラム（多職種連携教育、interprofessional education :IPE）として実施する。

初年次体験実習 1年次は全寮制の環境を活かした初年次体験実習として、4学部合同の学生グループを作成し、①病院見学、②福祉関連施設体験、③AED+心肺蘇生および外科的救急処置の実習を行い、医療人としてのモチベーションを向上させる。2年次には大学の附属病院で病棟実習を行う。看護師の日常業務を体験することでチーム医療の構成員である看護師の役割を理解する。3年次には地域の診療所での体験実習を行う。チーム医療の最小かつ医療最前線でチーム医療がいかに行なわれているかを理解する。

学部連携PBL(Problem-based learning)チュートリアルによる問題解決型学習 4学部合同の学生グループによる学部連携PBLチュートリアルを1、3、4年次に行う。内容は学年にしたがい徐々に臨床の場面設定に近づく累進型とする。1年次には身近な話題をテーマとしたPBLチュートリアルを行い、問題解決型学習の基本を学ぶ。3年次には患者症例をもとにした臨床シナリオ・PBLチュートリアルを行い、チーム医療での医師としての問題点を抽出して、グループ討議を行う。4年次には、模擬診療録を用いた病棟実習シミュレーション・PBLチュートリアルを行い、5年次での病棟実習での模擬を行う。

学部連携病棟実習 5年次に歯・薬学部5年生、保健医療学部理学療法学科3年生、看護学科・作業療法学科4年生と学部合同チームを作成し、臨床実習での受け持ち患者を合同チームで1週間担当する学部連携病棟実習を、附属7病院の約40病棟で行う。

学部連携地域医療実習・学部連携アドバンスト病院実習 6年次には歯・薬学部6年生、保健医療学部4年生で医療チームを作成し、選択実習として、在宅医療を中心とした地域におけるチーム医療を学習する学部連携地域医療実習、および大学病院における専門性の高い領域（がん、感染制御、救急医療、周産期医療など）のチーム医療を学習する学部連携アドバンスト病院実習を行う。

昭和大学の体系的なチーム医療学習のカリキュラム

